

# 12月議会報告 不採択！

## インボイス導入 延期を求める請願

またもや 中小零細業者の声は、国に届かず！



1月16日

### 感染した高齢者は

### 入院できるようにすべき！

#### 新型コロナ感染拡大で緊急申し入れ

1月16日、日本共産党市議団は倉成淳市長に対して、「新型コロナ感染対策の急拡大から市民の命と暮らしを守るために緊急申し入れを行いました。

昨年末以来、高齢者施設などで新型コロナ感染症に感染した入居者が、病院に入院できず施設内で亡くなったり、病院でクラスターが発生して医療機関がひつ迫していると伝えられています。議員団はその実態を

担当者は、施設内で感染した高齢者施設や医療機関への支援、そして、事業者へは、持続化給付金・地域企業経営支援金の再実施を国や県に求めるよう8項目を申し入れました。

明らかにし、感染した高齢者が入院できるようにするここと、高齢者施設や医療機関への支援、そして、事業者へは、持続化給付金・地域企業経営支援金の再実施を国や県に求めるよう8項目を申し入れました。

## 東バイパスの横断歩道廃止は止めよ!!



瀬川貞清議員

### 撤去の方針は 却下になった

これに対し、市長は「令和4年7月20日に開催された奥州警察署交通規制対策協議会で、「市道慶徳杉ノ堂線との交差点部」及び「市道大町杉ノ堂線との交差点部」の2カ所の横断歩道について、廃止を却下する答申がありました。なお、その答申には「水沢東バイパス完全共用に合わせて再検討」との付帯意見がついていることを明らかにしました。

## 孤独死対策の充実を

### 緊急通報装置の 貸与拡充に努める

倉成淳市長は、疾病等の原因で体調の急変等が心配な高齢者等が、緊急時に安心センターに上がる通報機器を設置する事業（令和4年10月末現在99世帯設置）で、事業の拡充については、市のホームページで事業等の情報提供を行い、市民への周知を行う」と述べました。

# 市政報告

2022年1月2月号  
奥州市議会日本共産党議員  
連絡先  
奥州市役所日本共産党議員団控室  
水沢大手町1-1 ☎24-2111  
日本共産党奥州市委員会  
水沢字久田62 ☎24-2021 fax24-2049



佐藤美雪議員



瀬川貞清議員



千葉敦議員



菅原明議員



今野裕文議員

## 日本共産党奥州市議団

令和4年度12月議会が11月25日～12月13日まで開催されました。日本共産党市議団の一般質問と請願審査の概要を紹介します。

12月13日最終日、胆江

日本共産党の佐藤美雪

地区消費税廃止各界連絡会（亀梨恒男会長）が提出した「消費税インボイス制度の導入延期を求める意見書採択についての請願」の審査が行われました。

9月議会では「導入の中止を求める請願」が否決されています。今回は日本商工会議所が求めている「導入延期」と歩調を合わせた内容になっていますが、再び否決されました。

中小零細事業者の声は、再び届けることはできませんでした。

野裕文議員も「インボイスの準備ができない中小業者が多く、税理士や税務署等の税務にかかる現場でも混乱をきたすとして、延期を求める」とは当然のことと思う」として賛成討論しました。

日本共産党市議団と3人（奥州みらい）の8人の賛成のみで不採択となりました。

千葉敦議員は、長引くコロナ禍、物価・原材料の高騰の中、「コロナ対応融資（実質無利子・無担保のいわゆる『ゼロゼロ融資』）」などで過剰債務となり、融資返済に苦慮している事業者があるとして、事業が続けられるよう支援するべきだとして、倉成市長の見解を質しました。

千葉敦議員は、地域経済回復が見えない中、日本政策金

融公庫や県の「ゼロゼロ融資」を当面「別枠融資」と

し、新たな資金調達ができる

苦慮している事業者があると

して、事業が続けられるよう

に追い込まれると訴え賛成討論しました。また、今

議員は、「消費税は預り金ではなく、公平公正な税制ではない」とし、「取引上、立場の弱い中小企業やフリーランス等が廃業

に苦しむ事業者への支援策を講じるべき

千葉敦議員は、地域経済回復が見えない中、日本政策金

融公庫や県の「ゼロゼロ融資」を当面「別枠融資」と

し、新たな資金調達ができる

苦慮している事業者があると

して、事業が続けられるよう

に支援するべきだとして、倉成市長の見解を質しました。

千葉敦議員は、地域経済回復が見えない中、日本政策金